

Red Hat Enterprise Linux Resilient Storage Add-On

重要なお知らせ：

Resilient Storage Add-On は Red Hat Enterprise Linux 10 では廃止されますが、それ以前のバージョンの Red Hat Enterprise Linux (7, 8, 9) では、それぞれのメンテナンスサポートのライフサイクルにわたって引き続きサポートされます。

重要なアプリケーションには信頼性の高いストレージが必要

ハイブリッド・データセンター全体にわたって堅牢で信頼性の高いアプリケーションを提供するためには、一貫性と信頼性に優れたオペレーティングシステム基盤が必要です。同様に、アクセス性、強固なデータ可用性、迅速なリカバリーによりアプリケーションの可用性を支える、回復力の高いストレージサービスも欠かせません。Red Hat® Enterprise Linux® は、予測可能で安定した運用を支える一貫した基盤を提供し、High-Availability Add-On と Resilient Storage Add-On により可用性を高めることも可能です。

Red Hat Enterprise Linux Resilient Storage Add-On は、共有論理ブロックデバイスまたはクラスタファイルシステムとして、高可用性クラスタのメンバーによる共有ストレージへの同時アクセスを可能にします。クラスタ内の各サーバーは、最大 100 テラバイトのローカル・ストレージエリアネットワーク (SAN) を介して、共有ブロックデバイスに直接アクセスできます。このアドオンには以下が含まれます。

- ▶ 同時アクセスをサポートする Red Hat Global File System 2 (GFS2)
- ▶ ストレージアクセスを調停するためのクラスタ全体にわたるロック機構
- ▶ 最大 16 ノードにまたがる Portable Operating System Interface (POSIX) 準拠のファイルシステム
- ▶ Microsoft Windows 環境向けのクラスタ化された Samba または Common Internet File System (CIFS)

Red Hat Enterprise Linux Resilient Storage Add-On

Resilient Storage Add-On は、ソフトウェア障害やシステム障害から重要なビジネスデータを保護します。このアドオンは、クラスタ管理機能とアプリケーションの自動リカバリー機能の提供を、Red Hat Enterprise Linux High Availability Add-On に依存しています。いずれのアドオンも、物理サーバー上にも、仮想化環境やクラウド環境にもデプロイ可能です。

安定性と回復性に優れたクラスタファイルシステム

組織がアプリケーション・サービスをモダナイズし拡張するにつれて、ファイルシステム・レイヤーにおけるアプリケーションの可用性と安定性のサポートが重要になってきます。Red Hat Global File System 2 は 64 ビットの対称型クラスタファイルシステムで、共有名前空間を提供し、共通ブロックデバイスを共有する複数ノード間の一貫性を管理します。共有ブロックデバイスは通常、適切な RAID レベルを提供するファイバーチャネルまたは iSCSI SAN 上の論理ユニット番号 (LUN) ですが、適切な一貫性保証をサポートする任意の共有ストレージデバイスを使用可能です。

アプリケーションとワークロードの 24 時間 365 日の可用性

安定性と信頼性を重視した GFS2¹ は、SAS、Tibco MQ、IBM Websphere MQ、Red Hat AMQ など、非常に重要なアプリケーションをサポート可能です。また、多くのカスタムアプリケーションに加えて、Web サーバーやファイル転送プロトコル (FTP) サーバーも GFS2 上に成功裏にデプロイされています。アクティブ/パッシブ・ネットワークファイルシステム (NFS) サーバーも GFS2 上で運用できます。このアドオンには CTDB が含まれているため、アクティブ/アクティブ Samba (SMB) サーバーもデプロイ可能です。

¹ クラスタ環境で運用する予定のアプリケーションの適合性を、デプロイメント前に評価することが重要です。Red Hat サポートチームは、個々のアプリケーション、ワークロード、ユースケースについてアドバイスを提供できます。

ハイライト：

- ▶ IT 環境全体にわたりデータストレージの信頼性と可用性を向上
- ▶ 重要なアプリケーションとワークロードのデプロイを支える、クラスタファイルシステム・リソースへのアクセス、迅速なリカバリー、中断のないアプリケーション・サービス
- ▶ GFS2 のデプロイによりクラスタノード間の一貫性を向上。

迅速なリカバリー

組織は個々のストレージノードの障害に耐え、データ損失なしに迅速にリカバリーできなければなりません。GFS2 は、単一障害点 (SPOF) のないクラスタファイルシステムを提供します。ハードウェア・フェンシングにより、故障または停止したノードの自動再起動とクラスタへの復帰が可能になります。また GFS2 のジャーナリング機能により、ノードで障害が発生した場合でも、一貫性を維持しながら迅速にリカバリーできます。さらにデュアル接続ストレージを実装すると、ストレージ・ネットワークの冗長性をさらに高めて、ケーブルやスイッチの故障から保護することも可能になります。

より信頼性の高い仮想化環境

Red Hat Virtualization や VMware のような仮想化環境は、仮想マシンのフェンシングやフェイルオーバーなどの高可用性機能をサポートしている必要があります。Resilient Storage Add-on は、Red Hat Enterprise Linux カーネルと直接連携して、仮想化環境の信頼性を向上させます。仮想化機能は、カーネルベースの仮想マシン (KVM) テクノロジーを使用して直接統合されます。仮想マシン内にクラスタを作成すれば、Red Hat Virtualization ノード間でのアプリケーションのフェイルオーバーを実現できます。

パフォーマンス監視

組織はビジネス継続性を確保するために、アプリケーションとワークロードのパフォーマンスを継続的に監視および分析する必要があります。GFS2 が提供するパフォーマンス監視データは、Performance Co-Pilot (PCP) と直接連携します。また Red Hat Enterprise Linux 管理用の Web ベースインタフェースである Cockpit とも統合されます。

**Red Hat について**

エンタープライズ・オープンソース・ソフトウェア・ソリューションのプロバイダーとして世界をリードする Red Hat は、コミュニティとの協業により高い信頼性と性能を備える Linux、ハイブリッドクラウド、コンテナ、および Kubernetes テクノロジーを提供しています。Red Hat は、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、既存および新規 IT アプリケーションの統合、複雑な環境の自動化および運用管理を支援します。[受賞歴のあるサポート](#)、トレーニング、コンサルティングサービスを提供する Red Hat は、[フォーチュン 500 企業に信頼されるアドバイザー](#)であり、オープンな技術革新によるメリットをあらゆる業界に提供します。Red Hat は企業、パートナー、およびコミュニティのグローバルネットワークの中核として、企業の成長と変革を支え、デジタル化が進む将来に備える支援を提供しています。

f fb.com/RedHatJapan
✕ twitter.com/RedHatJapan
in linkedin.com/company/red-hat

jp.redhat.com
#1385502_1124

アジア太平洋
+65 6490 4200
apac@redhat.com

オーストラリア
1800 733 428

インド
+91 22 3987 8888

インドネシア
001 803 440 224

日本
03 4590 7472

韓国
080 708 0880

マレーシア
1800 812 678

ニュージーランド
0800 450 503

シンガポール
800 448 1430

中国
800 810 2100

香港
800 901 222

台湾
0800 666 052